

GARMIN.

FORCE™ トローリングモーター フットペダル インストールガイド

はじめに

⚠ 警告

プロペラが水中から出ているときは、モーターを作動させないでください。回転するプロペラに触れると、重傷を負うおそれがあります。

ご自身や水中の他の人が回転するプロペラに接触する可能性のあるエリアではモーターを使用しないでください。

怪我をしないようするために、プロペラのクリーニングまたは整備を行う前に、必ずバッテリーからモーターを取り外してください。

⚠ 注意

モーターを収納または設置するときは、可動部への巻き込みや挟み込みによって負傷するおそれがあるので注意してください。

モーターを収納または設置するときは、モーターの周囲の滑らかな面に注意してください。モーターを収納または設置するときに滑ると、怪我をする可能性があります。

掘削、切断、または研磨を行っている間は、保護ゴーグル、防音保護具、および防塵マスクを忘れずに着用してください。

注記

ドリルで穴を開けたり、のこぎりで切断したりする場合は、表面の反対側に何があるか常に確認してください。

ボートの破損を防ぐために、このデバイスは、製品の認定技術者が取り付ける必要があります。適切に取り付けるには、船舶の電気システムに関する特別な知識が必要になります。

必要な工具

- 単三アルカリ電池、NiMH 電池、またはリチウム電池 2 本 (電池を使用して電力を供給する場合)
- 5 mm (#10) ステンレススチール製セルフタッピングねじ 4 本 (ペダルをポートデッキに固定するため)
- ドリルと 3 mm ($\frac{1}{8}$ in.) ドリルビット (ペダルをポートデッキに固定するため)
- 耐海水性のシーリング剤 (ペダルをポートデッキに固定する際にねじをシーリングするため)

取り付けおよび電源に関する考慮事項

フットペダルの位置を選択する際は、以下の点に注意してください。

- フットペダルはトローリングモーターとワイヤレスで通信するので、ケーブルを使用してモーターに接続する必要はありません。
- 付属のケーブルを使用してフットペダルを電源に接続するか、単三電池を 2 本使用して電力を供給することができます。
- 必要に応じて、フットペダルをポートデッキに取り付けることができます。取り付け金具は付属していません。
- 船舶に内蔵または市販のフットペダルウエルがある場合は、ペダルをウエルに取り付けることができます。取り付け金具は付属していません。

取り付け手順

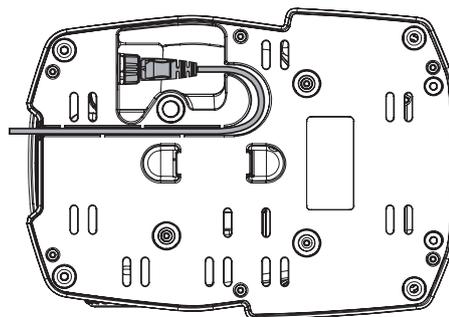
電源を接続する

フットペダルをボートのバッテリーに接続すると、ペダルに電力を供給できます。完全にワイヤレスで設置する場合は、単三電池を使用してフットペダルに電力を供給できます。

注記

フットペダルをボートのバッテリーに接続する場合は、単三電池を取り付けないでください。フットペダルに長時間電池を入れたままにすると、腐食して破損するおそれがあります。

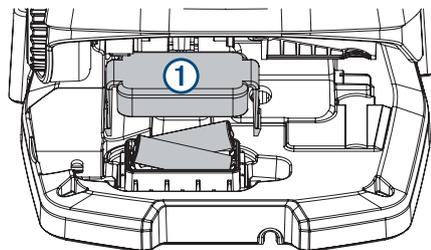
- 1 付属の電源ケーブルをボートのバッテリーまたはサーキットブレーカーに配線してから、フットペダルを取り付ける場所または使用する場所に配線します。
必要に応じて、18 AWG (0.82 mm²) ケーブルを使用して電源ケーブルを延長できます。
注：電源ケーブルを延長する場合は、まずヒューズを取り外し、ボートのバッテリーまたはサーキットブレーカーとケーブルエクステンションの間に再度取り付ける必要があります。
- 2 バッテリーまたはブレーカーの正極 (+) の端子に赤いケーブルを接続し、負極 (-) の端子に黒いケーブルを接続します。
- 3 電源ケーブルのコネクタをフットペダルの底部にあるポートに押し込み、ロックリングを時計回りに回して固定します。
- 4 電源ケーブルをフットペダルの底部にあるチャンネルを通して配線します。



電池の取り付け

フットペダルは、単三アルカリ電池、NiMH 電池、またはリチウム電池 (別売) 2 本を使用して操作できます。最良の結果を得るには、リチウム電池を使用してください。

- 1 フットペダルの前部をできるだけ持ち上げます。
- 2 電池カバー ① の端をつまんで、引き上げて取り外します。



- 3 極性に注意しながら単三電池を 2 本挿入します。
- 4 電池カバーを電池の上に置き、両側が所定の位置にカチッと収まるまで押し下げます。



ボートデッキへのフットペダルの取り付け

注記

フットペダルをデッキに取り付ける必要はありませんが、特に電池を使用して動作させる場合は、取り付けることを強くお勧めします。固定されていないフットペダルがデッキ上を滑って、ボートから落下することがあります。

- 1 ボートのデッキに適した取り付け金具を特定します。
5 mm (#10) のステンレススチール製セルフタッピングねじを使用してください。このねじの長さは、ボートデッキの材料によって決まります。
- 2 選択した場所に、付属の取り付けテンプレートを設置します。
- 3 3 mm ($\frac{1}{8}$ in.) ビットを使用して、テンプレートに示されているパイロット穴を開け、テンプレートを取り外します。
- 4 以下のようにして、アクションを選択します。
 - 電池を使用してフットペダルに電力を供給する場合は、フットペダルの底部にある電源コネクタのウェザーキャップを確認して、しっかりと固定されていることを確認してください。
 - 付属のケーブルを使用してフットペダルに電力を供給する場合は、フットペダルの底部にケーブルを接続します (まだ接続していない場合)。
- 5 パイロット穴に耐海水性のシーリング材を塗布して、ボートデッキに水が入らないようにします (オプション)。
- 6 取り付け金具を使用して、フットペダルをボートデッキに固定します。

フットペダルのフットペダルトレイへの取り付け

フットペダルをトレイに取り付ける前に、トレイに付属の説明書に従って、ボートのデッキにトレイを取り付ける必要があります。

トレイ内部にフットペダルを固定する場合は、トレイ素材に適した取り付け金具を購入する必要があります。

注： 使用しているくさびおよびトレイ素材を通過するのに十分な長さのステンレススチールセルフタッピングねじ 5 mm (#10) を使用する必要があります。

- 1 フットペダルをトレイに入れ、ペダルの高さをテストします。
- 2 必要に応じて、目的の高さになるまでペダルの下に仮のくさびを入れます。
高さを決定したら、フットペダルのトレイに取り付ける恒久的なくさびを作製する必要があります ([恒久的なくさびの作製, 3 ページ](#))。
- 3 以下のようにして、アクションを選択します。
 - 付属のケーブルを使用してフットペダルに電力を供給する場合は、フットペダルの底部にケーブルを接続します (まだ接続していない場合)。
 - 電池を使用してフットペダルに電力を供給する場合は、フットペダルの底部にある電源コネクタのウェザーキャップを確認して、しっかりと固定されていることを確認してください。
- 4 ペダルの高さを上げるためにくさびを使用する場合は、フットペダルの底部にくさびを固定します (オプション)。
- 5 フットペダルをトレイの底部に固定しない場合は、ペダルをトレイに入れて取り付けを完了します。
- 6 フットペダルをトレイの底部に固定する場合は、付属の取り付けテンプレートをカットしてトレイに置きます。
- 7 トレイの材質と取り付け金具に適したドリルビットを使用して、テンプレートに示されているパイロット穴を開け、テンプレートを取り外します。
- 8 パイロット穴に耐海水性のシーリング材を塗布して、ボートデッキに水が入らないようにします。

- 9 取り付け金具を使用して、フットペダル（必要に応じてくさびも含む）をトレイに固定します。

恒久的なくさびの作製

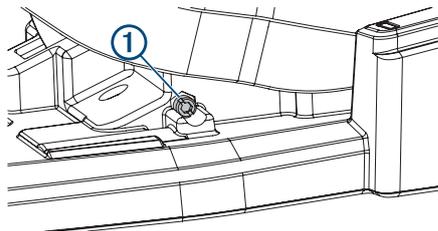
トレイにフットペダルを取り付けて高さを上げたい場合は、恒久的なくさびを作製してペダルの下に取り付ける必要があります。

- 1 取り付けに適した厚さの適切なくさび材（船舶グレードのPVCなど）を購入します。
- 2 くさびの材料または紙の上にトレイの形状を書き写します。
- 3 くさびを材料から切り取ります。
- 4 くさびをトレイに入れて取り付けられていることを確認し、必要に応じて端を切り取ります。
- 5 トレイの排水穴の位置を確認し、くさびの穴の位置に印を付け、くさびに穴を開けて水が適切に排出されるようにします。

張力の調整

フットペダルが簡単に動きすぎる場合や、動きにくい場合は、フットペダルの張力を調節できます。

- 1 フットペダルの左側にある張力調整ねじ①を見つけます。



- 2 以下のようにして、アクションを選択します。
 - 張力を強めるにはねじを時計回りに回します。
 - 張力を弱めるにはねじを反時計回りに回します。
- 3 フットペダルをテストし、フットペダルが必要な動きになるまで前のステップを繰り返します。

仕様

寸法（長さ x 幅 x 高さ）	303 x 221 x 110 mm (11 ¹⁵ / ₁₆ x 8 ¹¹ / ₁₆ x 4 ⁵ / ₁₆ in.)
重量	1.8 kg (4 lb)
動作温度	-15° ~ 70°C (5 ~ 158°F)
防水等級	IEC 60529 IPX7 ¹
材質	プラスチック
入力電圧	DC 10 ~ 45 V
一般的な入力電流	< 1 mA @ DC 12 V
最大入力電流	10 mA @ DC 12 V
ヒューズ（電源ケーブル上）	2 A ミニブレードタイプ
電源ケーブル長	2 m (6.6 ft.)
電池タイプ	単三電池 2 本（アルカリ電池、NiMH 電池、リチウム電池。付属していません）
電池寿命	1 年以上
無線周波数	2.4 GHz @ 2.5 dBm 定格
コンパス安全距離	60 cm (2 ft.)

© 2019 Garmin Ltd. or its subsidiaries

Garmin®、Garmin ロゴ、および GPSMAP®は、米国またはその他の国における Garmin Ltd. の登録商標です。ActiveCaptain®、ECHOMAP™、および Force™ は、Garmin Ltd. とその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

¹ *このデバイスは水深 1 m に 30 分間耐えうる防水性能です。詳細については、www.garmin.com/waterrating を参照してください。

